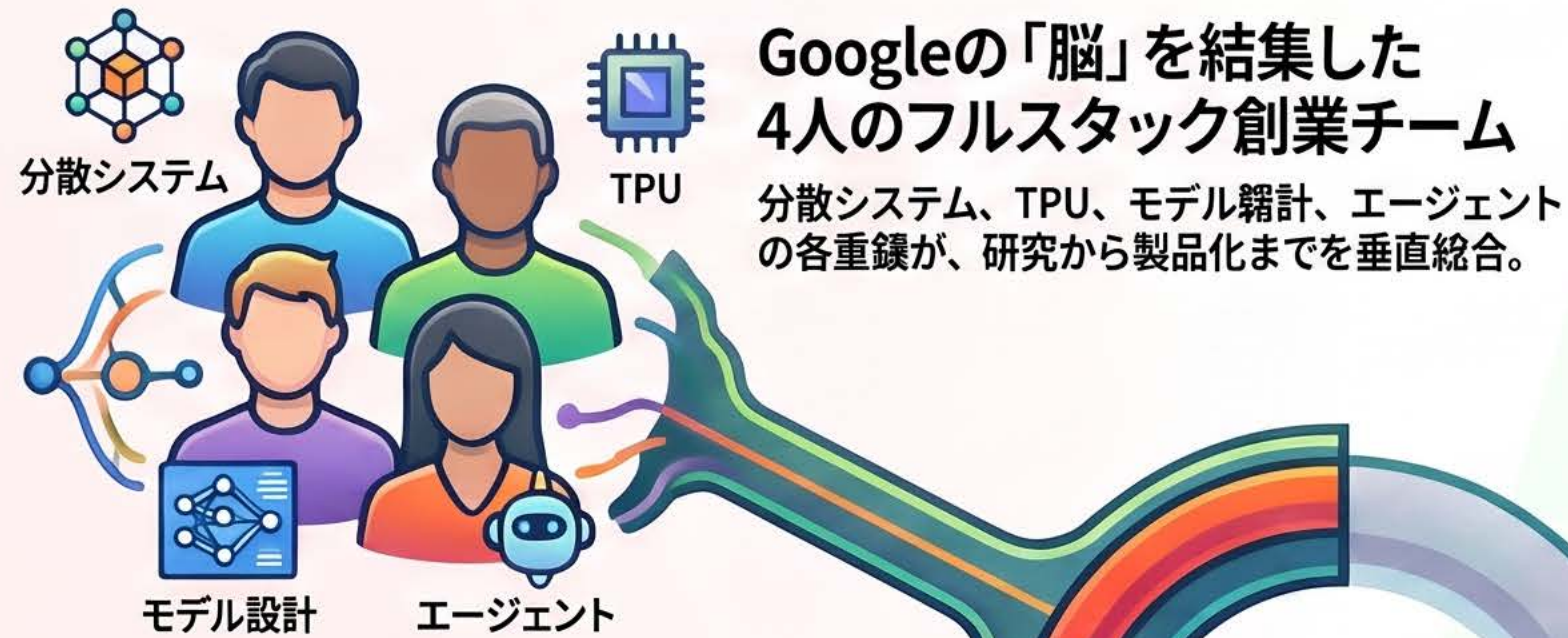


Discovery Loop: AI研究の「産業化」と自己改善への挑戦

創業チームと「協調型独立」の構図



Alphabetとの「協調型独立」という新形態

資本・計算資源・共同研究で接続を維持しつつ、大組織の慣性を離れて高適な意思決定を実現。

100億ドル規模と目される将来評価額



実績以上に、創業者の信頼性と「研究の自動化」という技術偉説に巨大な資本が投じられている。

技術的本質：AI研究の「閉ループ化」



「検証済み改善1件あたり」のコストを最小化

実験数ではなく、AIが自社スタックを自己改善する「複利」の速度が最大の競争優位となる。

定義
AIが候補生成から評価までを反復
Discovery Loopの目標
事業の入口(現在)

定義
AIが研究速度自体を向上させる
Discovery Loopの目標
直近の上臨れ目標

定義
AIが次世代モデルを自律生成
Discovery Loopの目標
公約・実証なし(将来)